３つの森林活動

みなさまの参加を
お待ちしております

小原本陣の森

第１・３日曜日

知足の森

第１・３日曜日

相模湖・嵐山の森

不定期活動

News Letter

NPO法人緑のダム北相模
midorinodam.jp

No.523-524
中学生も本格的に間伐作業を開始しました

【定例活動報告】
小手澤の森（仮称）

緑のダム北相模は相模原市内で活動する森林ボランティアです。急がず、無理せず、楽しく、休まず、 ボチボチと・・。

第３日曜日の活動より

　これまでも第３日曜日を中心にお花畑班が活動をしたり、竹林整備をフォレストキッズスクール、地元の小学校の総合学習で行ってきたこの一帯を、小手澤の森ととりあえず呼称することとしました。中日本高速鉄道が所有し、地元の方にお預けになられている部分も含め、果樹園があり、竹林があり、東西両側にいわゆるスギ、ヒノキ林があり、また昨年の台風では大きく斜面が崩れ現在でも針葉樹、広葉樹が入り混じって１０本が倒れかかったままであり、まさに多様な活動が可能なこの森で新たに活動を開始

します。今回はこの活動に継続的に参加されている原田先生の教え子でもある安藤さんの活動報告を掲載します。

造園業を営んでおります、作庭処安藤の安藤彰矩と申します。午前午後と主に森の中での整理整頓などといった作業を中心に取り組みました。中でも、午後からの竹林の倒木処理の作業が印象的でした。普段から私としても、竹や中高木の伐採は仕事柄経験していますが、森の中での"お掃除"はスケールが大きすぎて少々怖気づいてしまう程です。一番の恐怖心は、人数が多い事です。それぞれの人が刃物を持ち、木を切り倒す場所で無秩序に作業している事です。そんな作業の最中でも、安全第一で声を掛け合い、誰も無理をする事のない楽しい時間が流れていたと感じました。

一人の植木屋としての一番の感想は、作業上邪魔な落葉樹を刈り払う事に勿体無さを感じました。東京では植栽工事に幹の曲がった無骨な樹形の落葉樹が庭木として8000～30000円で取引されています。シダや熊笹などの下草も同様、手のひらサイズの川石ですら1キロ50円～売られています。この森に内在する価値は単に丸太材などの林産物だけでなく、足元にこそ潜んでいると自分なりに大きな可能性を感じました。今回切り刻んだ竹も私たち植木屋は、毎年この時期に竹屋さんで購入します。筧、垣根、雪吊り材、花入、竹燈籠などに使うためお金を払います。

森林活動という大きな枠の中で、上を見上げる事に疲れたら、足元にも少し目を向ける。すると沢山の発見が出来て楽しいです。

安藤　彰矩（作庭処安藤）

【定例活動報告】知足の森

第１日曜日の活動より

今月の第１日曜日の活動は知足の森、小原側所有林の境界線調査を行いました。さらに11月に東海大高輪台高校SSHの受け入れも行うため、その準備も兼ねています。中学生がその報告をしてくれました。

今回の活動では午前中、水平距離を測る機械で距離を測りました。自分の位置からポールを持っている人の位置までを測るのですが、ポールを持っている人との距離があるため、なかなか上手く意思疎通ができず、例えば右に動いて貰いたいのに上手く伝わらなくてもどかしかったです。また、照準器を覗いて水平距離を測る機械の位置を決めるのですが、その位置調整がとても難しく苦戦しました。

午後は場所を少し移動し、ブタクサという草の草刈りをしました。この草は自分の背ぐらいあります。二人で六畳くらいの広さを作業しましたが、二時間位掛り、とても疲れました。

今回も大変でしたが、自分たちが過ごしている場所は、何処でもこういう作業をしてくれている人がいるから便利にまたは楽しく利用できるのだなと思いました。

津田　真悠子（GREEN TECH ENGINEER LAB　中学１年）

今回は雑草を刈り、GTEラボで取り組む山の測量をした。雑草刈りでは今まで使っていたのこぎりに加えて鎌を使った。鎌は細い雑草を刈るのに適していたが、太い雑そうを切ろうとすると鎌が刃こぼれしてしまったりする。のこぎりは太い雑草を一度に切るのに適していたが細い雑草を切ると勢い余って足に当たりそうになってしまう。これらの特性を知り使い分けるととても早く作業が終わった。

もう１つ学んだのが体力の使い方だ。最初は早く切りたいがため無駄な動きが多かった。後半になり円を書くように刈るとよいことが分かった。そうすると長い間疲れなかった。自分の小さな動きをよく見てみるとむだな動作は意外に多い。

山の測量では大きく２つのことを学んだ。１つ目が「山では慎重に行動すること」だ。山では蔓が遠くにつながっていて観測器具が倒れていままで慎重にそろえていたものがパーになってしまうなんてこともあった。近くだけでなく遠くも見る。２

つ目は「思いやりの気持ち」だ。え？と思うだろうが木や雑草を切るときに「ここで作業する人は、どうしたほうがやりやすいか」などのことを考えるととてもきれいに仕上がる。また今度のGTEラボでも今回学んだことを生かして山をよりよくしたい。

竹村　明洋（GREEN TECH ENGINEER LAB　中学１年）

桜井尚武の森のコラム

「ニシキギ *(Euonymus alatus)*」

図1 シャリンバイ

20200116汐入公園

図2 ニシキギの花

20110603軽井沢

図3 果実

20201028汐入公園

図4 ニシキギの紅葉

20201108汐入公園

北海道から九州、中国、千島、樺太、サハリンまでの山地や丘陵地に普通に自生する樹高4m程度になる落葉低木。長楕円形で小振りの小さい鋸歯のある葉が対生し枝は緑色無毛。小枝の4方向にコルク質の翼（よく）が出るのが特徴（図1）。この翼を剃刀に見立ててカミソリの木という地方があります。この翼が出ないものはコマユミ(*E. alatus* f. *stiatus*)といいます。

若葉は山菜とされるそうですがまだ食べたことはありません。5~6月に緑色の両性花を開きます（図2）。秋10月頃に熟し種皮が裂けて飛び出す仮種皮に覆われた赤い果実（図3）は有毒で腹痛・嘔吐・下痢などの症状が出るといいますが、ツグミ・シジュウカラ・メジロ・コゲラ等の小鳥にとってはこの仮種皮は重要な餌であり消化されない種子は糞に混じって散布されます。

晩秋の紅葉が見事なことから錦木の名がついたとされていますが、錦とは種々の色糸で地色と模様を織り出した織物のことですから、様々な植物の色とりどりの紅葉黄葉が織り成す豪華絢爛な秋の森の景観はまさに錦秋といえますが、紅くなるだけのニシキギは錦木というより季節により緑と赤が鮮やかに入れ替わるという意味での二色木という方が当たっていると思います（図4）。それはともかく、春から夏の緑も落ち着いているので庭園樹や公園樹に多用されています。増殖や栽培、剪定や移植などの管理が容易なのも造園対象に人気のある所以でしょうが、雑木林の下層木としても知っておきたい植物です。

ニシキギの材は取り立てて利用価値があるとは思えませんが、木目が目立たず柔らかいので判子材に利用されたそうですし子供たちもこの木で判子を作って遊んだのでハンコノキという呼び名があるという記述があります。

桜井　尚武（本会、会員）

【若者の森づくり】知足の森

第３日曜日の活動より

私は初めての活動を通してみてたくさんのことを学びました。初めての活動で何をすればいいのかあまりわかりませんでしたがラボのみんなや先生方が丁寧に教えてくれて活動の事がよく分かりました。初めは正直、木を運んだりはすることはできずみんなの事をただ見るだけになってしまいました。

ですがみんながんばっている姿を見てみてすごいなとおもい、一回木を持ってみました。初めて持った時は一人で持てる重さではなく、みんなで持つと運ぶことができたため、協力する大切さや仲間の必要性を身を持って体験しました。だからより軽くもつにはどうすればいいのか、効率を考えて活動することができました。例えば機械を使う所と自分たちの手で運ぶ所を分けて運んだりしました。他にもみんなは効率をたくさん考えて活動していてすごいなと思いました。まだ経験はみんなよりも少ないですが、今回の活動を生かして頑張って行きたいです。

村上　和夏（GREEN TECH ENGINEER LAB　中学１年）

NPO法人
緑のダム北相模

名称：特定非営利活動法人　緑のダム北相模
現地事務局：〒252-0172　相模原市緑区与瀬本町12　かどや食堂内
支援団体：セブン-イレブン記念財団
積水ハウスマッチングプログラム、国土緑化推進機構
コンサベーション・アライアンス・ジャパン
協働団体：神奈川県、相模原市、麻布大学、マルモ出版、
東京学芸大学環境教育研究センター、
（社）東京学芸大EXPLAYGROUND推進機構、
（社）さがみ湖 森・モノづくり研究所、ウッドバンク㈱

参加にあたって：

初参加者は、9時15分までにJR相模湖駅前に集合です。服装、持ち物については、汚れても良い服装、着替え、滑らない靴　成るべく皮製手袋、万一の怪我に備えて保険証、飲料水、主食、昼食

危機管理・救急対応：

危険管理・救急体制・森林ボランテイア保険の準備の他、会として可能な限りの体制を敷いていますが「怪我・事故は、自己責任」です。

緑の募金　一般財団法人 セブン-イレブン 記念財団　SEKISUI HOUSE MATCHING PROGRAM　CAJ Conservation Alliance Japan 一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン